



「この町が私の街！人生の舞台！

高齢者&子どもふれあい交流会」
～わたしにとってのアナザースカイ～

- ・リーダー：澤村 康孝
- ・メンバー：小野 聖一・小谷 晋一・
阪口 純吉・杉井 奈央子
- ・オブザーバー：堀尾 奈那



①実践プランの背景・課題 (応募した時のこと)

- ・「自助」「互助」「共助」「公助」というそれぞれのステージ中で、個別支援と地域活動支援が展開されているということが気づくことができた。
- ・例えば、自助でできないことを互助であればできることがたくさんあることもわかった
- ・また、逆に地域性による互助の影響が強すぎて、自助ができなくなってしまっている現状を知ることができた
- ・以上のことから、地域のニーズにも、個別のニーズにも、その両側面に合った活動をしたいと考えた。
- ・「認知症にやさしいまちづくり」とか「誰でも気軽に参加できるまちづくり」というフレーズをよく見聞きするが、本当に地域の方にとって、必要な社会資源となるような成果物を生み出したいと考えた。(地域のハブと中継地点となるようなもので例えば、懐かしい音楽を聴きながら、カフェを楽しむ等)

②やってみようと思ったこと・着眼点 (チームになって考えたこと)

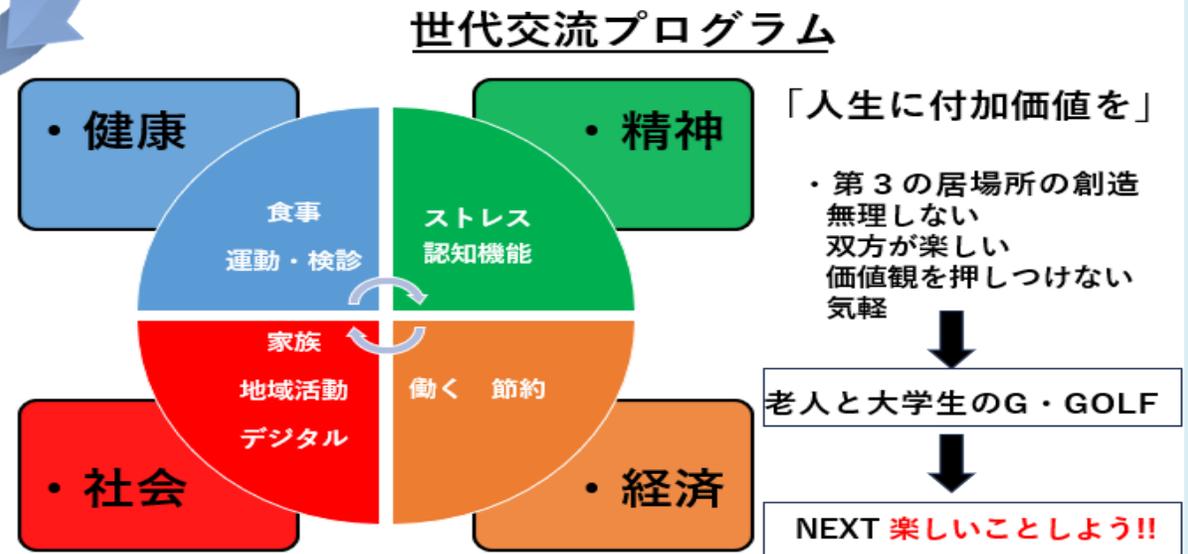


- 自分にとっての「ええまち」って？
- ・身近なところに、ゆるやかに繋がれる人や場所がある。
- ・地域の中に居心地の良い居場所、ほっとできる場所、自分らしくいられる場所がある。

④現場見学・トライアル (チームでやってみたこと)

- ・2/11 地域との企画に向けてのミーティング
- ・2/14 グランドゴルフふれあい交流会(体験)

③事例調査・文献調査(チームで調べてみたこと)



⑤実践プランの再設定

(③④を経てチームで検討し直したこと・やってみたからこそ分かったこと)

「検討して直したこと」

- ・地域の中にゆるやかな繋がり&居場所を見つける&再発見する&作る。(PDCAサイクル)
- ・若者(学生)と高齢者が交流する場所や機会を作る。(世代間交流)
- ・リアルな場とSNSの両方で交流する。(やりがい!いきがい!)



「やってみたからこそわかかったこと」

○世代間交流の活性化のために求められること

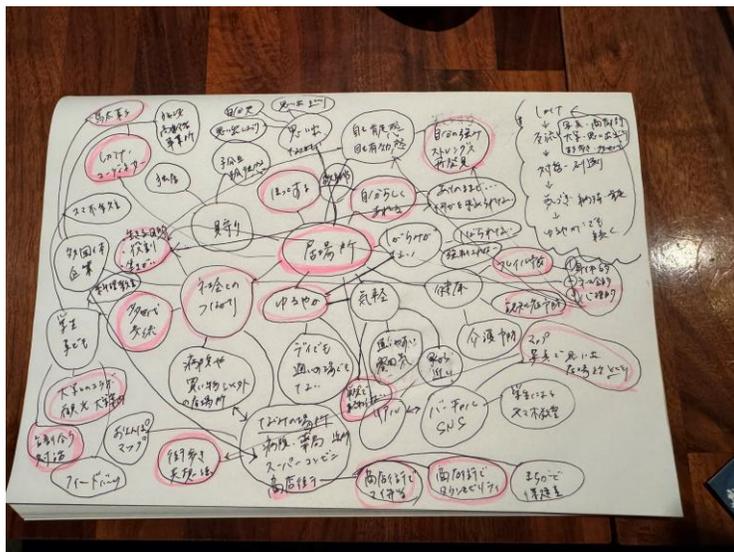
- ・世代間交流の「場」を作るだけでは、世代間交流はうまくいかない。
- ・高齢者と若者の双方が、世代間交流に対して、「話が合わないかもしれない」といった消極的な姿勢を示す場合もある。
- ・このような心配を乗り越えるためには「コーディネーター」となる人材が重要なカギとなる。
- ・世代間交流には、コーディネーターらによる「仕掛け」が非常に大切となる。

⑥今後の活動プラン(今後1~2年の活動イメージ)

○高齢者と学生が交流することの意義

- ・対話や交流によって、自分自身と自分のまちの良さや強みに気づく。(社会的な役割や意義を感じる!)
- ・お互いのホームを知り、共通点を見いだすことで、相互理解が生まれる。お互いに触れたことがないこと、知らないことを教えあったり、双方の価値観や考え方を知ることで、良い刺激が生まれる。
- ・既存の地域の集いや居場所に学生が加わることで、これまで関わりが薄かった地域住民や高齢者が気軽に参加できる場にする、ゆるやかに繋がれるようにする。
- ・普段の生活で関り合いがないからこそ、弱みや本音を出せる場、機会になることが期待される。(アナザースカイ)

⑦実践編で作った広報物、ツール等



グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 体 験 会



どの年代の人でも、地域の人たちと交流しながら楽しくプレイできるグラウンドゴルフ！

これに参加すれば、地域の人たちの優しさ、グラウンドゴルフの楽しさに夢中になること間違いなし！

活動場所: 金岡公園
 活動日時: 毎週 月曜日・金曜日 9:30~11:00

皆様の参加を心よりお待ちしております！

今後の活動案内 等

連絡先: socialdesign.bemymself@gmail.com

仕事のスキルを地域に生かす、働く世代のまちづくり

大阪エエまち
アカデミー

☆こんな企画をしました！ 次回は、春先に予定をしています！

体験会を実施中！！
今後はSNSを活用していく予定です！



高齢者&子どもふれあい交流会

グラウンドゴルフを通して地域の人たちと交流してみませんか？これに参加したら、グラウンドゴルフの面白さ、地域の人たちとのコミュニケーションの楽しさに気づくこと間違いなし！

実施日：●月●日
実施場所：金岡公園

皆様の参加を心よりお待ちしております！

An illustration of four people standing on a golf course. From left to right: a young girl in a red dress, an elderly man in a green jacket, an elderly woman in a purple jacket, and a young boy in a green shirt and cap holding a golf club. A golf bag is on the left, and a golf ball is on the ground near the boy.



実践リーダー 澤村 康孝

杉井さんとの出会いをきっかけに小野さん、小谷さん、阪口さん、堀尾さんと仲間が広がりました。「プログラム良し！地域良し！そして仲間よし！」メンバーの皆様本当にありがとうございました。



実践メンバー 杉井 奈央子さん

メンバーでポジティブに楽しくアイデア出ことができました。これからそのアイデアの芽を育てて色々な花を咲かせていきたいです！



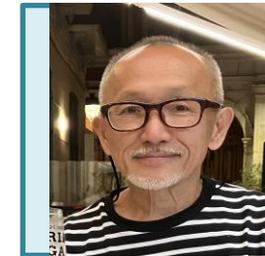
実践メンバー 小谷 晋一さん

堺市を拠点に生活支援事業「御用聞き」サービスを提供し地域福祉と活性化に寄与する活動を推進しています。



実践メンバー 小野 聖一さん

高齢福祉分野での経験を経て、大阪市を中心に大学生らと地域支援である「御用聞き」活動を行なっています。



実践メンバー 阪口 純吉さん

本年、晴れて老人の仲間入りしました。組織を離れた一個人として、高齢者が楽しく安心な日々を送れるような楽しいプログラムを、皆で構築できればと考えます。



オブザーバー 堀尾 奈那

大阪公立大学1年生の堀尾奈那です。普段は学生が運営している、株式会社CSKで地域貢献活動を行っています。

